

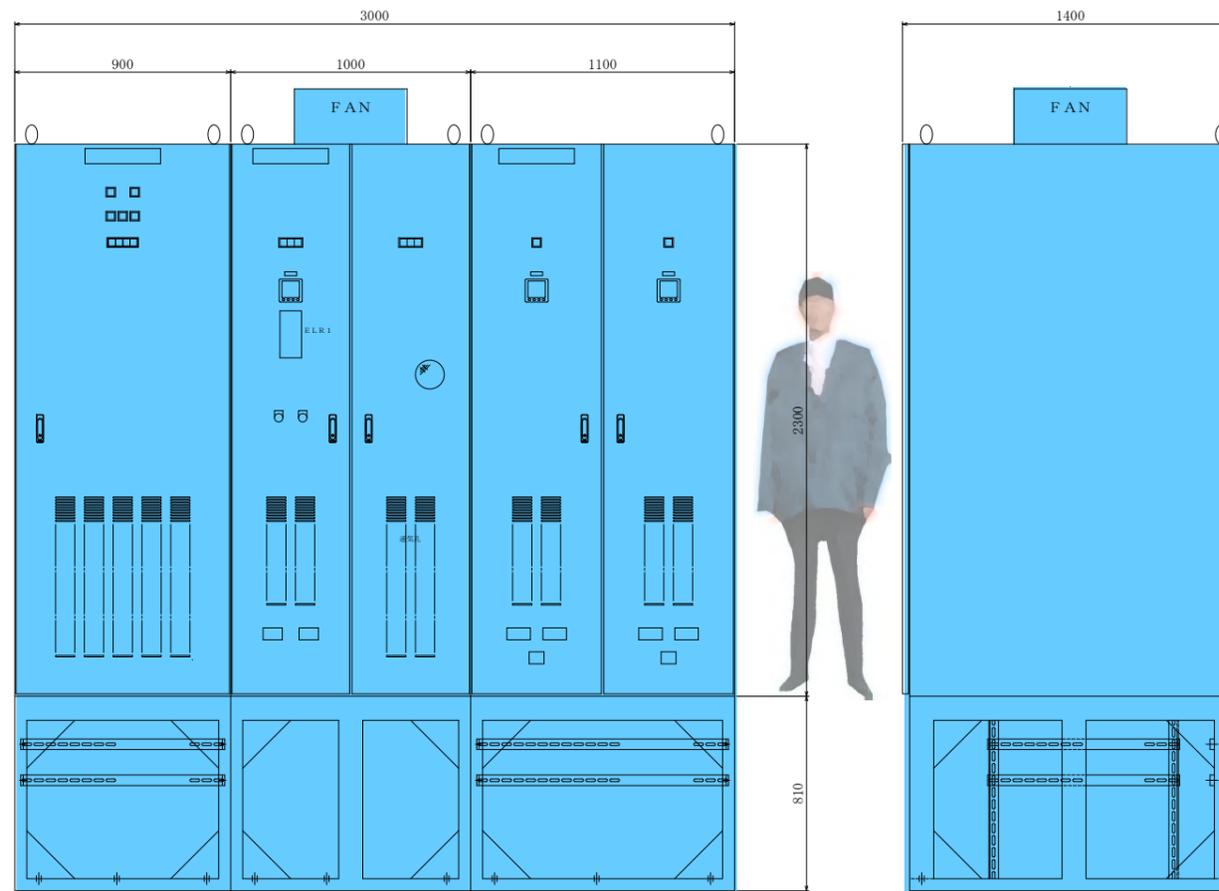
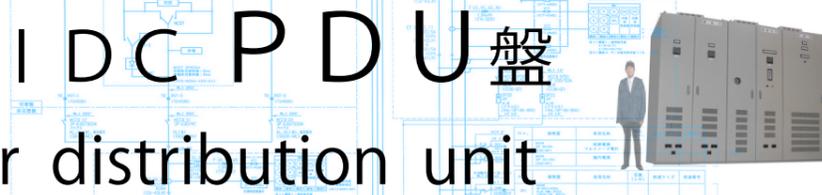
Assumed Failure

IDC（インターネットデータセンター）向けの配電系統は、クラウド環境下の基本コンセプトのひとつである「Assumed Failure（障害発生を前提とする）」を絶対条件とし、停電リスク・高調波障害・地震災害等あらゆるリスクを回避し、IT機器への電源供給を24時間365日稼働することが要求されています。



PDU盤は、UPS（無停電電源装置）より給電を受けサーバ-用分電盤とともにサーバラック（IT機器）への高品質で安定した電源供給の専用設備として使用され高度な要求を満たす製品となっております。

項目	仕様	
入力電気方式	3相3線420V	3相4線420V
電気切替	切断時の瞬断時間	計画/自動：1/4Hz以下 計画/自動：5ms以下 計画：5ms以下、自動20ms以下
	バイパス回路	有・無
変圧器	2次電圧	3φ3W:210V D-D 3φ4W:182-105V D-Y 3φ7W:364-210V/182-105V D-Y（Y中間端子付）
	励磁突入電流倍率	指定なし・5倍以下・3倍以下・2倍以下・1倍以下
	K-factor値	指定なし・1.3・2.0
容量	容量	250KVA
	付属品（オプション）	防振ゴム・ダイヤル温度計・車輪
送り回路	定格：数量：	
計測	変圧器1次	無・マルチメータ・その他
	変圧器2次	無・マルチメータ・その他
その他	中性相強化	無・有（200%）
	SPD	無・有（クラス1）
	漏電リレー	無・有



正面図

側面図

※N相強化形MCCBは、高調波により重畳される定格電流（最大で1.73倍まで上昇）に対応するもので、N相のみ175%の定格電流を有しております。

## インターネットデータセンター向け電源盤

高速電源切替装置・Kファクター変圧器・N相強化MCCBを標準装備  
非接触型赤外線サーモセンサーによる温度測定対応構造で障害を未然に検知  
出力TBに個別カバーを取り付けて安全性を確保  
配線作業スペースを確保して作業性をアップ

### 機能

- 高品質な電源を24時間365日供給し、IT機器への停電リスクに対処する。
- 常用系停電時からバックアップ系への高速電源切替
- 負荷側の高調波電流を計測し異常を早期に検知
- 高調波の影響によるトランス温度上昇を監視

### 特長

- 5ms以下で無遮断で予備系統へ切替える高速電源切替装置を採用
- 高調波による温度上昇を規格値以下にするKファクター変圧器を採用
- 高調波によるN相電流の増大に対応するために分岐MCCBはN相強化形を採用

### ポイント

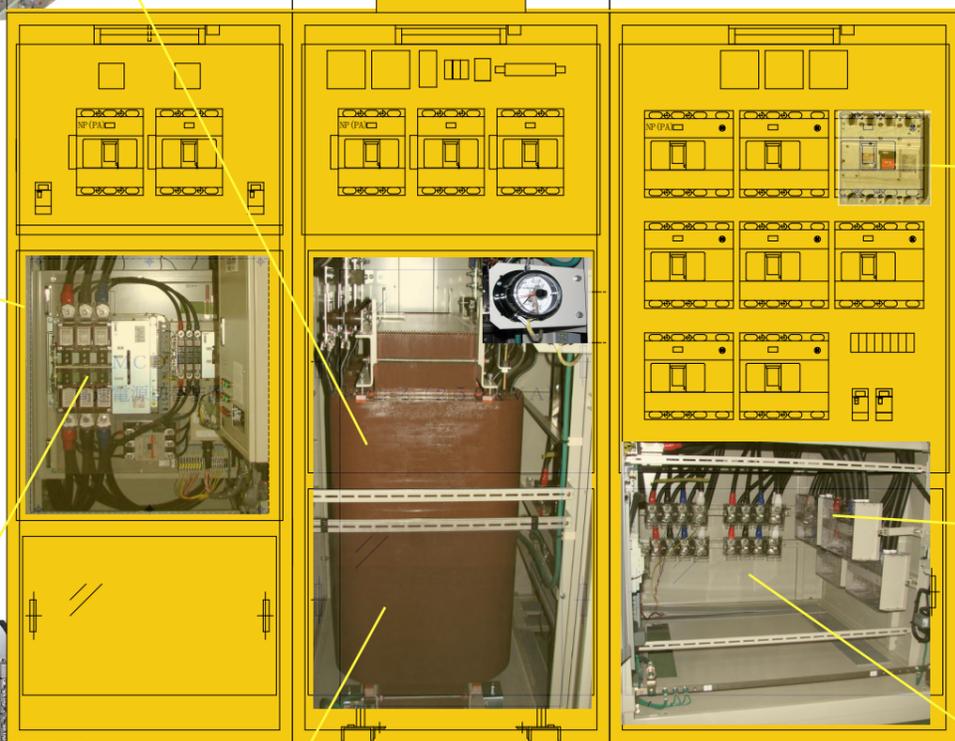
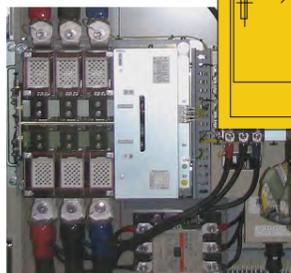
- 高調波対応の大電流電線に対応した構造
- 配線追加の作業時の安全性に配慮したレイアウト設計
- メンテナンス時の温度測定に対応した構造
- 通信系、強電系を分けたレイアウト設計



※通信系と強電系を分けたレイアウト



※高速電源切替装置は、冗長システムを構成した2系統（常用系UPS、予備系UPS）の電源を瞬断時間5ms以下で切替る装置です。



内部正面図

※K-ファクター定格トランスは、高調波を含む条件下で運転したときの巻線損失（温度上昇）の増加をあらかじめ考慮し同条件下でも巻線の温度上昇値が規格値以下となるよう設計された製品で、高調波障害の発生に対処しています。



※出力TBの個別カバー取付で安全性確保

※配線作業スペースを確保し作業性アップ